

バングラデシュについての危険情報レベルの引き上げ

平成27年10月5日
在コルカタ日本国総領事館

1. 10月4日、日本の外務省は同省海外安全ホームページで、同3日にバングラデシュ北西部で日本人男性が殺害された事件等を受け、バングラデシュ全土についての危険情報をレベル2（「不要不急の渡航は止めてください。」）に引き上げました。

2. 今回の日本人殺害事件においては、「ISIL（イラク・レバントのイスラム国）バングラデシュ」を称する組織が犯行声明を発出し、先月28日に首都ダッカ市内でイタリア人男性が殺害された事件でも同組織が犯行声明を発出しています。

3. つきましては、上記情勢を踏まえ、バングラデシュへの渡航・滞在を予定されている方は、不要不急の渡航は止めてください。渡航・滞在される場合は、現地の最新の治安情勢について情報収集に努めるとともに、十分な安全対策を行い、不測の事態に巻き込まれないよう特別な注意を払ってください。また、欧米系外国人が多く利用する施設や、人が多く集まる場所を訪れる際は十分な注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れる等、自らの安全確保に努めてください。

バングラデシュについての危険情報は以下リンク先からご参照ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo.asp?infocode=2015T111#ad-image-0>